

第 02354 号

発行日 平成 27 年 1 月 28 日

●本日のプログラム

外部卓話

柴 筑西広域消防本部消防長

●次週のプログラム

外部卓話

大場 筑西公共職業安定所長

下館ロータリークラブ会報

Rotary International
District 2820
SHIMODATE ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT



ロータリーに
輝きを

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン



会長 鈴木光則

副会長 小林一彦

幹事 早瀬浩一

会長エレクト 新井和雄

事務所 ダイヤモンドホール 〒308-0847 筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511 FAX0296-28-8533

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp

例会場 毎週水曜日 PM12:30~ ダイヤモンドホール(筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511)



前例会報告 第2641回 2015/1/21(水)

お客様 ようこそ下館RCへ

野邊 匡伸様(下館税務署長)
ドクター サジュー様(ネパール)
ドクター サジュー令夫人様(ネパール)
柳 加奈子様(下館ロータリークラブ会長)

会長挨拶 鈴木光則 会長

本日は、ゲストの方々からご挨拶いただきます。時間的余裕がないので、挨拶は省略させていただきます。

理事会報告 早瀬浩一 幹事

1. 2月のプログラムが承認されました。
2. 職場訪問の決算書が承認されました。
3. 下館RAC 35周年記念式典は、移動例会となり全員出席扱いで、全員登録料5千円集金することとなりました。

幹事報告 早瀬浩一 幹事

- 1月14日
1. 奥沢裕二会員、溝口明洋会員の12月末の退会を受理しました。
 2. 下館RACより、創立35周年記念式典の案内状が届きました。
 3. 下半期の会費の納入の件、各会員にFAXにてご案内しましたのでよろしく、お願い致します。
 4. 茨城新聞社に、正月広告を今年も掲載しました。
 5. ロータリー財団ニュースが届きました。
 6. だるま市のポリオ撲滅街頭募金活動には、多くの会員と市民の皆様にご協力いただき70,501円という多額の寄付をいただき、ありがとうございました。
 7. 藤居ガバナー、カスタマダップRCガジェンドラさん、米山奨学生ジン・ラジブ・クマルさんより年賀状が届きました。
 8. 岩瀬RC、結城RCより会報が届きました。
- 1月21日
1. 持ち回り理事会にてネパール訪問団に対して協力金(お土産代 etc) 5万円を贈呈することになりました。
 2. しもだて紫水RCより鮭稚魚放流事業案内とポスターが届きました。
 3. 下妻RCより会報が届きました。
 4. 国際交流友の会より日本語スピーチ交流会の案内が届きました。

ご挨拶 ドクター サジュー様

皆さんこんにちは。早く伺うつもりでしたが、なかなかビザが下りず本日もなってしまいました。

浄水器、ソーラーパネル等々ありがとうございました。おかげさまできれいな水を飲めるようになりました。又、ネパールはたいへん停電の多い国ですが、5kwの発電能力のあるソーラーパネルのお陰で停電を気にせず手術ができるようになり助かっております。下館ロータリークラブさん、本当にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

また、令夫人から鈴木光則会長に、マフラーのプレゼントがありました。



ロータリーアクトからのお知らせ

柳加奈子 下館RAC会長

来月2月21日(土) 当会場において、皆さんのテーブル上に配布しましたご案内のとおり、下館ロータリーアクト創立35周年記念式典を開催致しますので、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

外部卓話 野邊匡伸 下館税務署長

1. 税の役割

2014年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」は、「税」でした。

私たちの身の回りには、国や地方公共団体による多くの公共サービスが存在していて、その費用は、主に税金によって賄われており、私たちがそれぞれの納税の義務を果たすことにより、日本の社会は成り立っています。

これからの日本社会と税を考えると、少子高齢化社会の進行に伴い、例えば高齢者が増えることによる社会保障関係費が増える一方で、その費用である社会保険料を負担する働き手が減り、「税」による負担が増えるかもしれません。今後、豊かで安心して暮らせる未来のために、租税負担と給付の関係について、私たち一人一人が考えることが大切となってきます。

平成26年度の国の予算をみると、その規模は





約95兆9千億円となっています。歳入の主なものは「税金」で約50兆円が賄われ、日銀納付金などのその他収入と合わせて約54兆6千億円と歳入全体の約57%を占めており、残りの約43%は将来世代の負担となる「公債金収入」となっていて、いわば、国債を発行し借金をして賄っている状態となっています。これに対し、歳出をみると、国債費として約23兆円を充てていますが、返済した額の倍以上の借金を新たにしているわけですから、国債の残高は増える一方ということになります。他に歳出の主なものとしては、社会保障費が30兆5千億円と全体の約3割を占め、次に多いのが、地方公共団体によって公共サービスに格差が生じないように調整するために支出する地方交付税交付金等で、続いて、公共事業費、文教及び科学振興費、防衛費となっています。

また、近年の「経済成長の停滞」は、国の財政に深刻な影響を与えており、平成2年度までは、歳出と税収がほぼ並行して伸びていたものが、その後、歳出は増加を続ける一方で、税収は減少を続けていて、公債発行額も増加しています。今の国民生活に欠かせない社会保障制度は、近年、日本の経済・社会情勢が大きく変化しており、深刻な問題に直面しています。

特に大きな要因として、少子高齢化があげられ、高齢者と現役世代の人口バランスが大きく崩れ、社会保障制度の持続可能性に与える影響は非常に深刻になっています。もうひとつ大きな要因として、経済成長の停滞があり、こうした、近年の日本の社会と経済の変化などにより、所得税や法人税などの税収が落ち込んできています。

平成24年3月に、「社会保障と税の一体改革関連法」が公布されました。この「社会保障と税の一体改革」とは、日本の社会・経済情勢の変化に対応し、消費税をはじめとする税制抜本改革により、安心して持続可能な社会保障制度の実現を目指すことを目的にしています。

社会保障と税の一体改革における税制抜本改革の最大の柱は、消費税率の引き上げになります。

消費税率引上げ分の使い道ですが、大前提として、消費税の増税分については、全額を社会保障の充実・安定化の財源とし、公共事業費など他の費用には使わないとしていて、社会保障の充実には、消費税率が10%となる増税分5%のうち、1%程度を充てることとしており、社会保障の安定化には、増税分のうち4%程度を充てることとしています。

では、「なぜ消費税なのか…」ということですが、消費税は、①所得税や法人税と比較し、景気に左右されず、税収が安定している税目であるといわれています。また、②商品の購入やサービスに賦課

させる税金のため、子供から高齢者まで負担することになり、幅広い年代において税を負担するなど、社会保障の安定財源として、ふさわしい税であるといわれています。

現在、消費税について交わされている議論を簡単に紹介すると、誰でも消費をすれば同じ率の負担をするという点では、消費税は水平的公平な税であるとも言われていますが、逆に、消費税率の引き上げが問題になっている要因の一つとして、消費税の逆進的税制が言われています。法人税や所得税の場合は、収入から経費を引いた所得が大きければ大きいほど、税率が上がり税金を多く納めることとなりますが、消費税は、消費という、物を買ったり、サービスを受けたりすることに係る税金で、所得が多い人も少ない人も同じ税率になります。確かに、所得の多い人は消費する額も多くなるので消費税を納める金額も多くなると想定されますが、所得の低い人は所得のほとんどを消費に回す可能性が高いので、高所得者に比べて高い負担割合で消費税を払わなければいけなくなるので、逆進性の問題があると言われていています。これらの考え方を融合して、品物ごとに税率を変えてはどうかという、いわゆる「軽減税率」を導入すべきだという議論などが交わされています。

2. 税務署の仕事

我が国の税金は、納税者自らが、税務署へ所得などの申告を行うことにより税額を確定させ、この確定した税額を納税者が自ら納付する「申告納税制度」を採用しています。この申告納税制度が適正に機能するためには、第一に納税者が高い納税意識を持ち、憲法・法律に定められた納税義務を自発的かつ適正に履行していただくことが必要です。そのため、国税庁では、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する。」を使命として掲げており、この使命を達成するために、国税庁の任務として「内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」を掲げ、「納税環境の整備」と「適正・公平な税務行政の推進」を二つの柱として取り組んでいます。

税務行政の運営の考え方についてですが、国税庁の発足に重要な役割を果たしたハロルド・モス氏は、国税庁に一つのスローガンを贈りました。それが「正直者には尊敬の的、悪徳者には畏怖の的」であり、これには、適正に申告している納税者からは、国税庁は任務を全うしていると認められるように、反対に悪質な納税者からは、的確な調査を行う等で恐れられるようにといった、国税庁のあるべき姿が示されています。

国税庁ホームページでは、申告・納税の手続などに関する様々な情報を提供しており、その一つに、国税庁の様々な取組に関する情報を動画と図解で



解説するインターネット番組「Web-TAX-TV」があり、その中に、国税局や税務署の職員が、税務調査や滞納整理に従事している姿をドラマ仕立てで紹介する番組が配信されています。

また、国税庁では、納税者の方々が申告・納税を「簡単・便利・スムーズ」に行うことができるよう、様々な納税者サービスの充実を図っています。

国税庁ホームページでは、申告・納税の手続などに関する情報を、誰もが容易に利用できるよう提供していて、確定申告書等作成コーナーでは、パソコンの画面の案内に従って入力することにより、自動で計算を行い必要事項が記入された申告書等を作成することができます。

また、e-Taxは、自宅やオフィス・税理士事務所などから、インターネットを利用して、申告、納税、申請・届出などができるシステムで、ダイレクト納付は、あらかじめ預貯金口座の情報を記載した利用届出書を提出することにより、e-Taxを利用して電子申告等をした後、簡単な操作で、届出をした預貯金口座からの振替によって納付することができる納付手段になります。

最後に、社会保障・税番号制度への対応についてですが、この番号制度は、より公平な社会保障制度や税制の基盤であるとともに、情報化社会のインフラとして、国民の利便性の向上や行政の効率化に資するものとして導入されるものです。その導入スケジュールは、現在のところ、平成27年秋頃に個人番号・法人番号の通知が始まり、平成28年1月から順次、社会保障、税、災害対策分野で利用が開始される予定となっていて、国税庁では、この番号制度の導入を契機として、納税者利便の向上や所得把握の適正化・効率化に向けた検討を行っています。

スマイルBOX 石川真二 副委員長

- ▶野邊 匡 伸さん よろしくお願ひします。
- ▶鈴木 光 則さん 下館税務署長 野邊匡伸様、ネパール病院長 ドクターサジューご夫妻様、来訪していただきありがとうございます。
- ▶早瀬 浩 一さん 下館税務署長 野邊様、ようこそおいで下さいました。よろしくお願ひします。ローターアクト会長 柳さん、ご苦労様です。カスタマダップRC様ようこそおいで下さいました。
- ▶日向野 陽さん 下館税務署署長さんの卓話楽しみにしています。ケーブルテレビに郷土の歴史を学ぶで放映されました。ネパールドクターサジュー様の来訪を記念して。
- ▶小林 一 彦さん 下館税務署長 野邊様、本日はお忙しい中卓話ありがとうございます。宜しく

お願ひ致します。ネパール病院院長ドクターサジューご夫妻様ようこそおいで下さいました。

- ▶新井 利 平さん ドクターサジューご夫妻様ようこそおいで下さいました。2月にはネパールに行きたいと思ひます。
- ▶岩崎 晴 男さん 下館税務署長 野邊匡伸様ようこそ。
- ▶関谷 徹さん 下館税務署長 野邊様、卓話ありがとうございます。ネパール病院院長 ドクターサジューようこそ。日本を楽しんでいてください。
- ▶加藤 昌 美さん 税務署長 野邊匡伸様、卓話有難うございます。ネパール病院長 ドクターサジュー様、遠方よりようこそおいで下さいました。
- ▶新井 和 雄さん ドクターサジュー、ようこそ下館RCへ。
- ▶佐藤 昭さん 外部卓話、下館税務署長 野邊匡伸様よろしくお願ひ致します。
- ▶永井 啓 一さん 野邊署長、卓話よろしくお願ひします。カスタマダップRCさんようこそいらっしやいました。よろしくお願ひします。
- ▶神山 芳 子さん Dr.サジュー様、野邊様、ようこそ。ローターアクトクラブへのご支援よろしくお願ひします。
- ▶堀江 勤さん 下館税務署 野邊匡伸署長、ネパール病院院長ドクターサジュー様、ようこそいらっしやいました。卓話よろしくお願ひ致します。
- ▶鈴木 健 一さん 下館税務署 野邊匡伸署長さん、ようこそいらっしやいました。卓話よろしくお願ひします。
- ▶武井 宏 樹さん 野邊署長、いつも大変お世話になっております。ご来訪誠にありがとうございます。卓話宜しくお願ひ致します。
- ▶軽部 正 紀さん 下館税務署 野邊署長様の卓話ありがとうございます。
- ▶杉山 イ ネさん 下館税務署長 野邊匡伸様、卓話宜しくお願ひ致します。

本日の合計 24,600 円 累計 716,942 円

出席報告 黒沢昌之 委員長

会員数	出席	欠席	病欠	免除
35	25	7	0	3

※前回会報2353号にて、メイクアップの百目鬼会員のお名前に間違いがございました。誠に申し訳ございませんでした。